

2022年3月期 第2四半期

決算概況



- ・2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。
- ・2021年3月期 第2四半期業績は、当該会計基準等を遡って適用した後の数値。

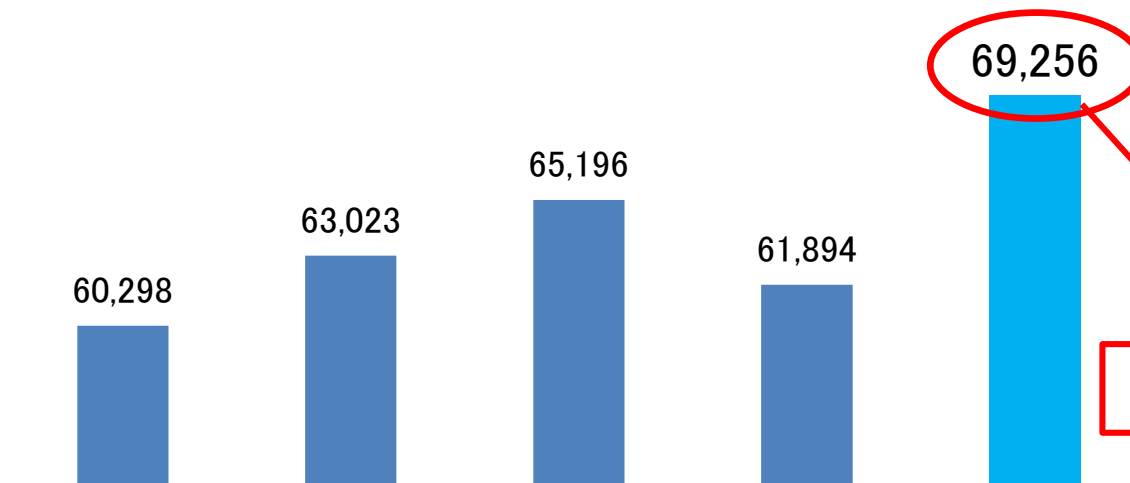
(単位: 百万円)

※「収益認識基準」適用	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減率 (前期比)
売上高	49,807	53,943	+ 8.3 %
営業利益	2,616	3,426	+ 30.9 %
経常利益	2,747	3,668	+ 33.5 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,709	2,381	+ 39.3 %

- ✓【売上高】 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年同期から、大きく回復。
- ✓【利益】 原材料価格高騰の影響を受けたが、売上高の増加により、大きく伸長。

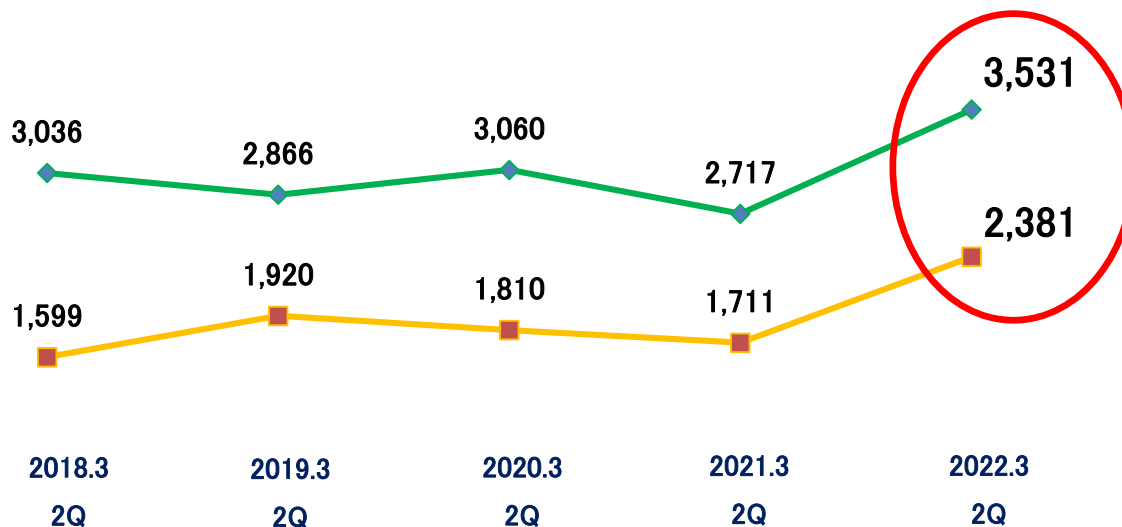
※ こちらの数値は、「収益認識基準」適用前の数値で記載しております。

◆ 売上高

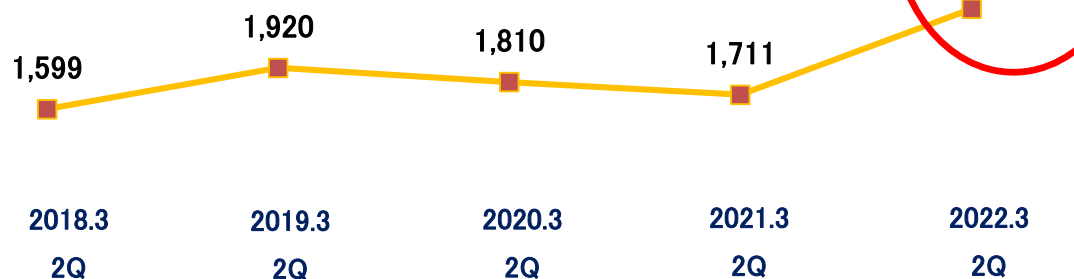


過去最高値で推移！

◆ 営業利益



◆ 親会社株主に帰属する 四半期純利益



(単位: 百万円)

①土木建設分野に使用される接着剤・シーリング材等は、「ボンド」セグメントに移管

②工事請負事業強化のため、工事会社5社を「工事事業」セグメントとして再編

従来セグメント

【ボンド】

- ・コニシ
(一般用・住宅関連用・産業資材用)
- ・サンライズ
- ・ウォールボンド工業 ・その他(関係会社)

【化成品】

- ・コニシ ・丸安産業 ・その他(関係会社)

【土木建設】

- ・コニシ(土木建設用)※接着剤・シーリング材等
- ・ボンドエンジニアリング
- ・コニシ工営 ・近畿鉄筋コンクリート
- ・角丸建設 ・山昇建設

再編後セグメント

【ボンド】 ※接着剤等製造販売メーカー

- ・コニシ
(一般用・住宅関連用・産業資材用・**土木建設用**)
- ・サンライズ
- ・ウォールボンド工業 ・その他(関係会社)

【化成品】 ※化成品商社

- ・コニシ ・丸安産業 ・その他(関係会社)

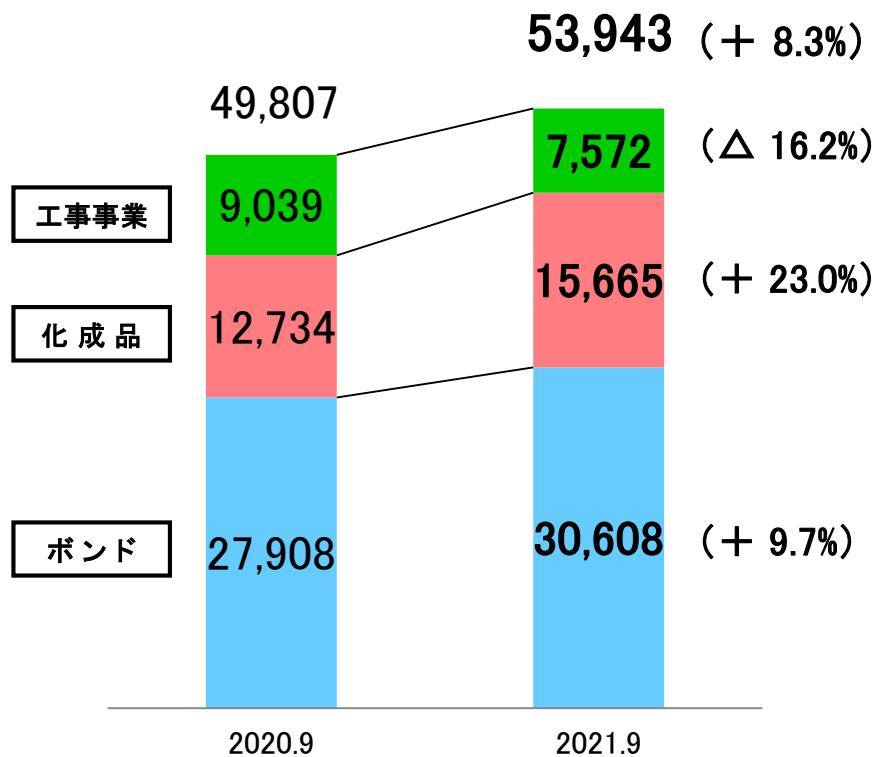
【工事事業】 ※工事請負事業会社

- ・ボンドエンジニアリング
- ・コニシ工営 ・近畿鉄筋コンクリート
- ・角丸建設 ・山昇建設

「収益認識基準」適用

売上高

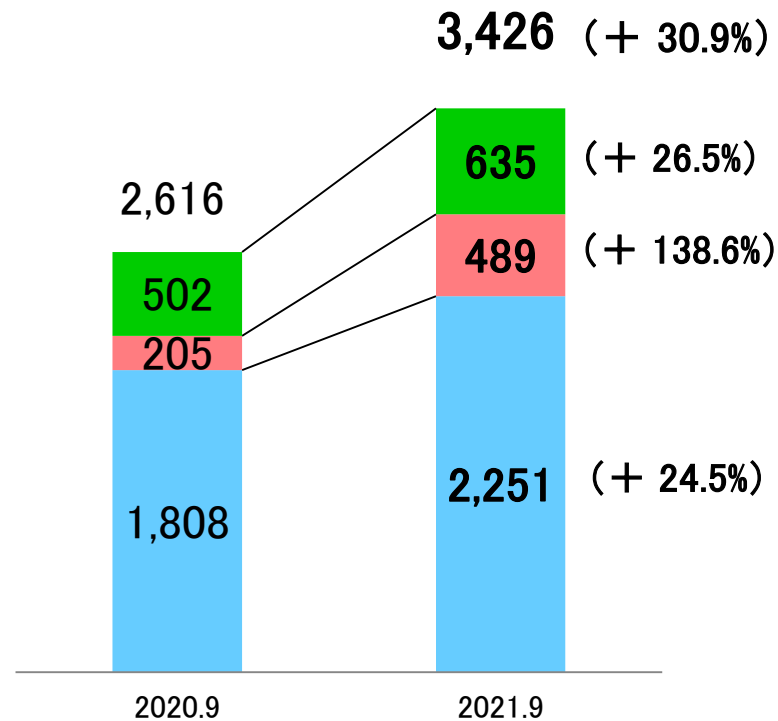
- ・「ボンド」は、主要分野(住宅・産業・建築補修)で回復
- ・「化成品」は、自動車・電材分野の商材が好調
- ・「工事事業」は、前期の大型工事案件の反動で減収



営業利益

- ・「ボンド」「化成品」は、売上高が大きく伸び、増益
- ・「工事事業」は、高利益率工事の完工等が貢献

(単位: 百万円 () 内%は前期比)



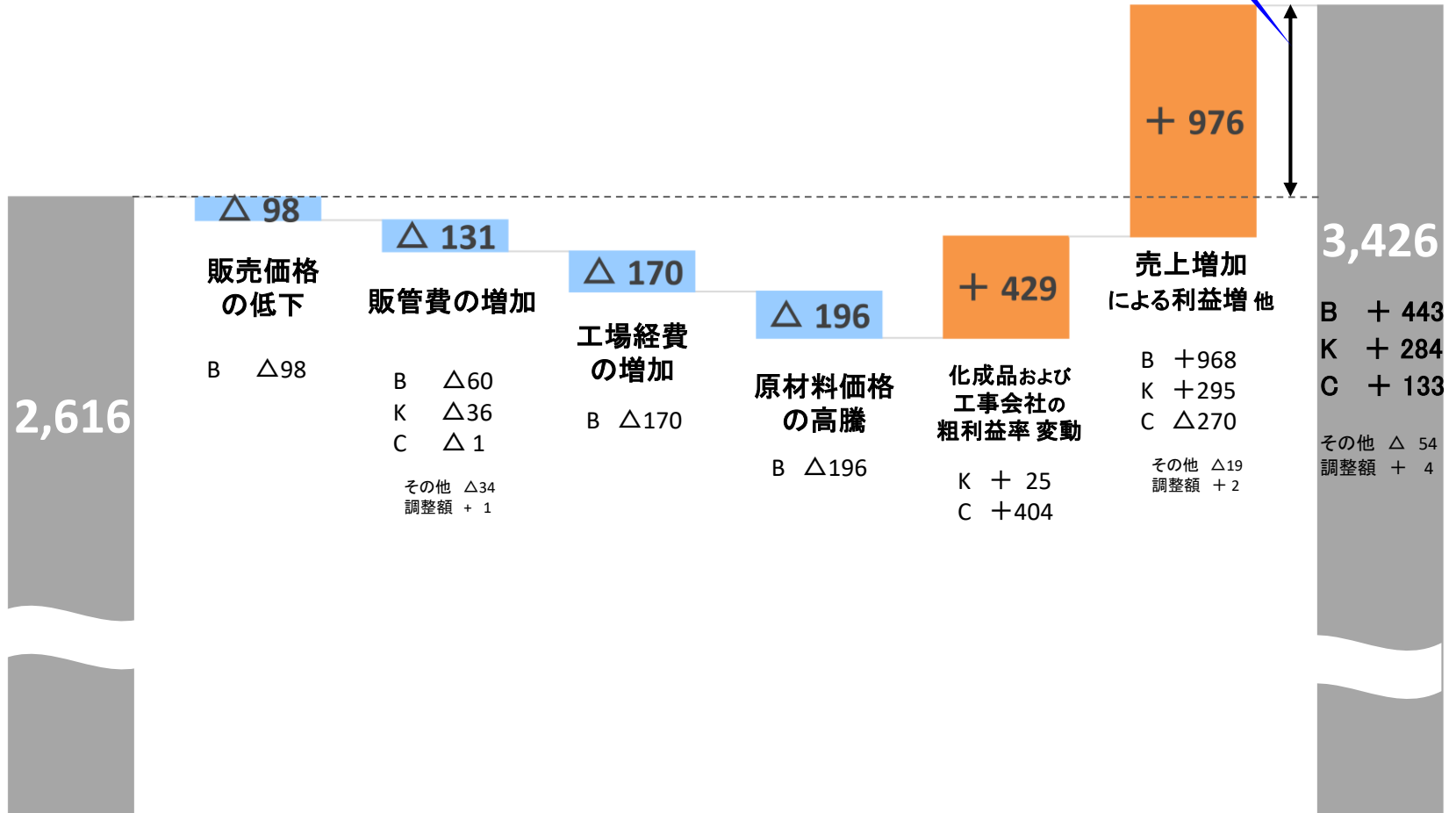
ボンド
 化成品
 工事事業 (グラフ内には「その他」は記載しておりません)

「収益認識基準」適用

営業利益

(単位:百万円 ()内%は前期比)

+810百万円
(+30.9%)



2021年3月期
第2四半期

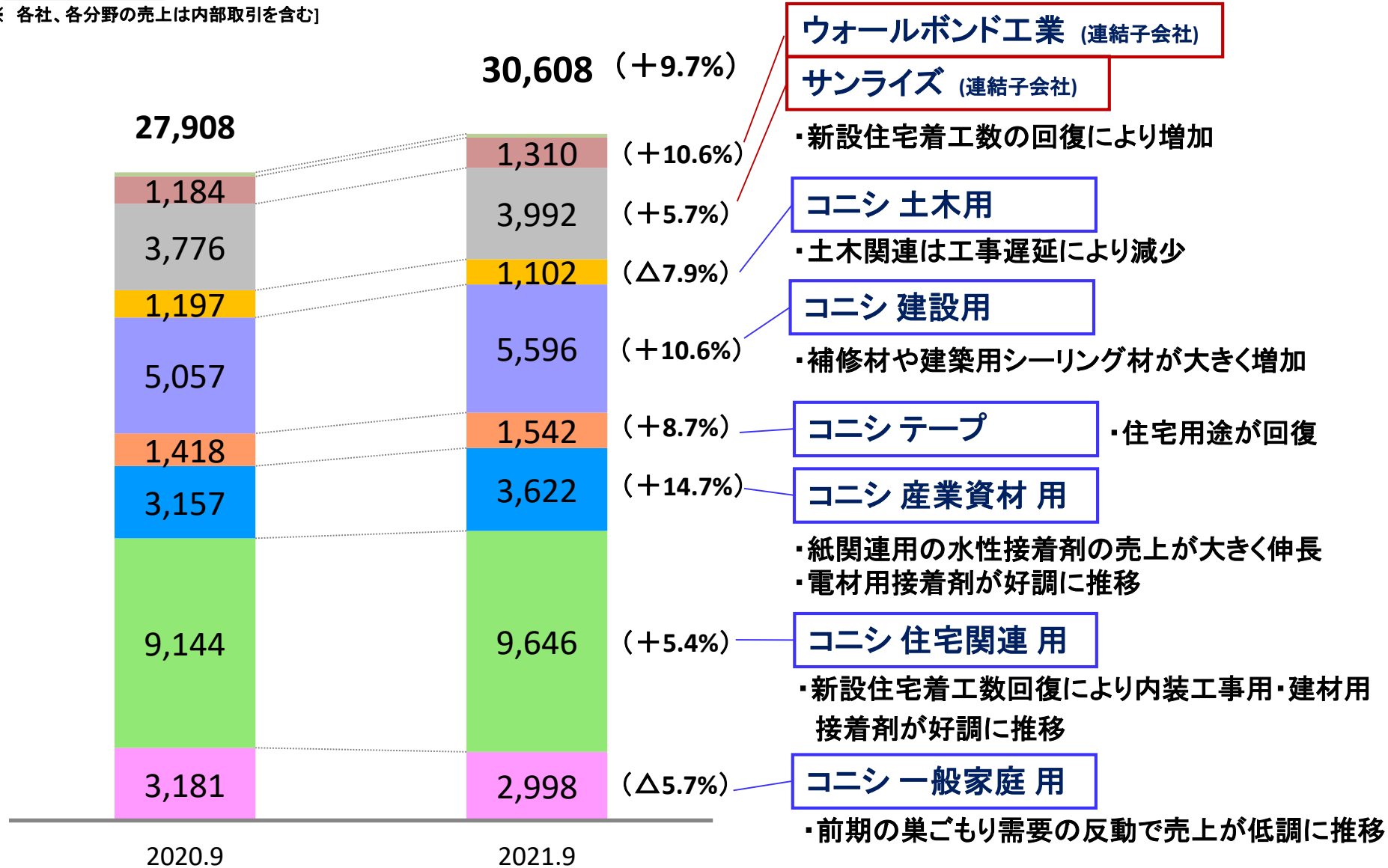
2022年3月期
第2四半期

売上高

「収益認識基準」適用

(単位:百万円 ()内%は前期比)

[※ 各社、各分野の売上は内部取引を含む]

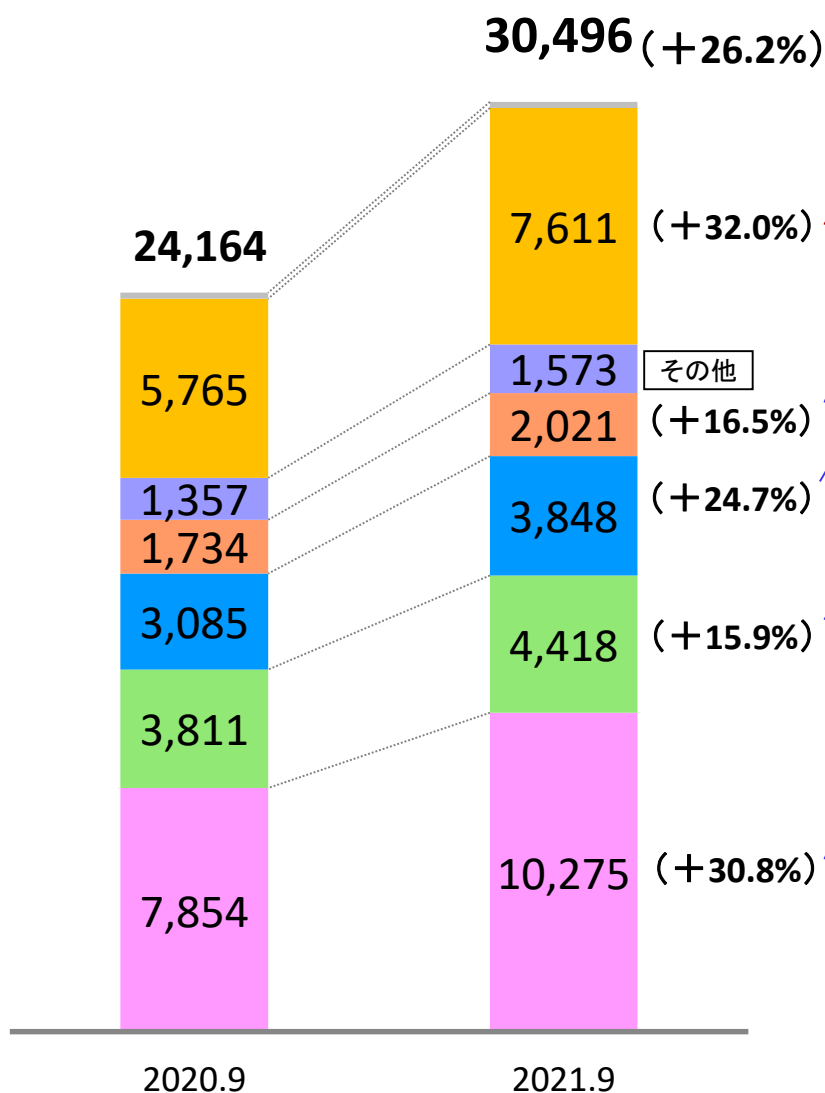


売上高

※当セグメントは、「収益認識基準」適用による変動が大きいため、旧会計基準にて記載いたします。

（単位：百万円（ ）内％は前期比）

[※ 各社、各分野の売上は内部取引を含む]



丸安産業（連結子会社）

・コンデンサ向け商材や半導体向け商材が大きく増加

塗料

・塗料メーカーの稼働回復により大きく伸長

電子・電機

・放熱材向け商材が好調に推移し大幅増

化学工業

・エタノール商材が前期の反動で減少
・樹脂原料は好調に推移

自動車

・車載部品に使用される商材が好調で売上が大きく増加

（参考）「収益認識に関する会計基準」適用後の売上高

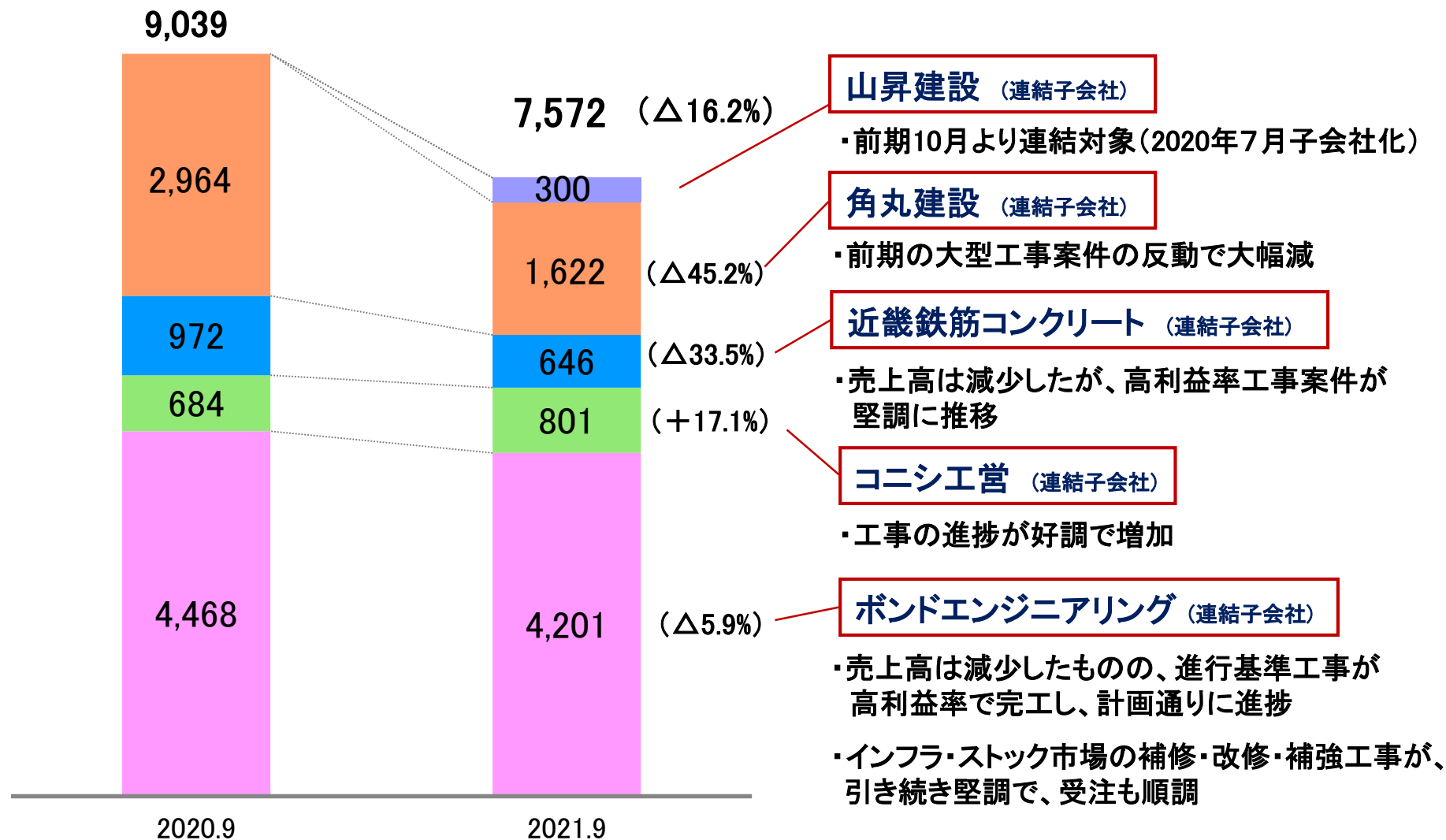
業界	売上高	
	2020.9	2021.9
丸安産業	2,499	3,330
その他	322	395
塗料	179	149
電子・電機	1,923	2,020
化学工業	915	805
自動車	6,070	7,963
化成品セグメント計	12,734	15,665

売上高

「収益認識基準」適用

(単位:百万円 ()内%は前期比)

[※ 各社、各分野の売上は内部取引を含む]



【 通期業績の見通し 】

上方修正(9月24日発表)

(単位:百万円)

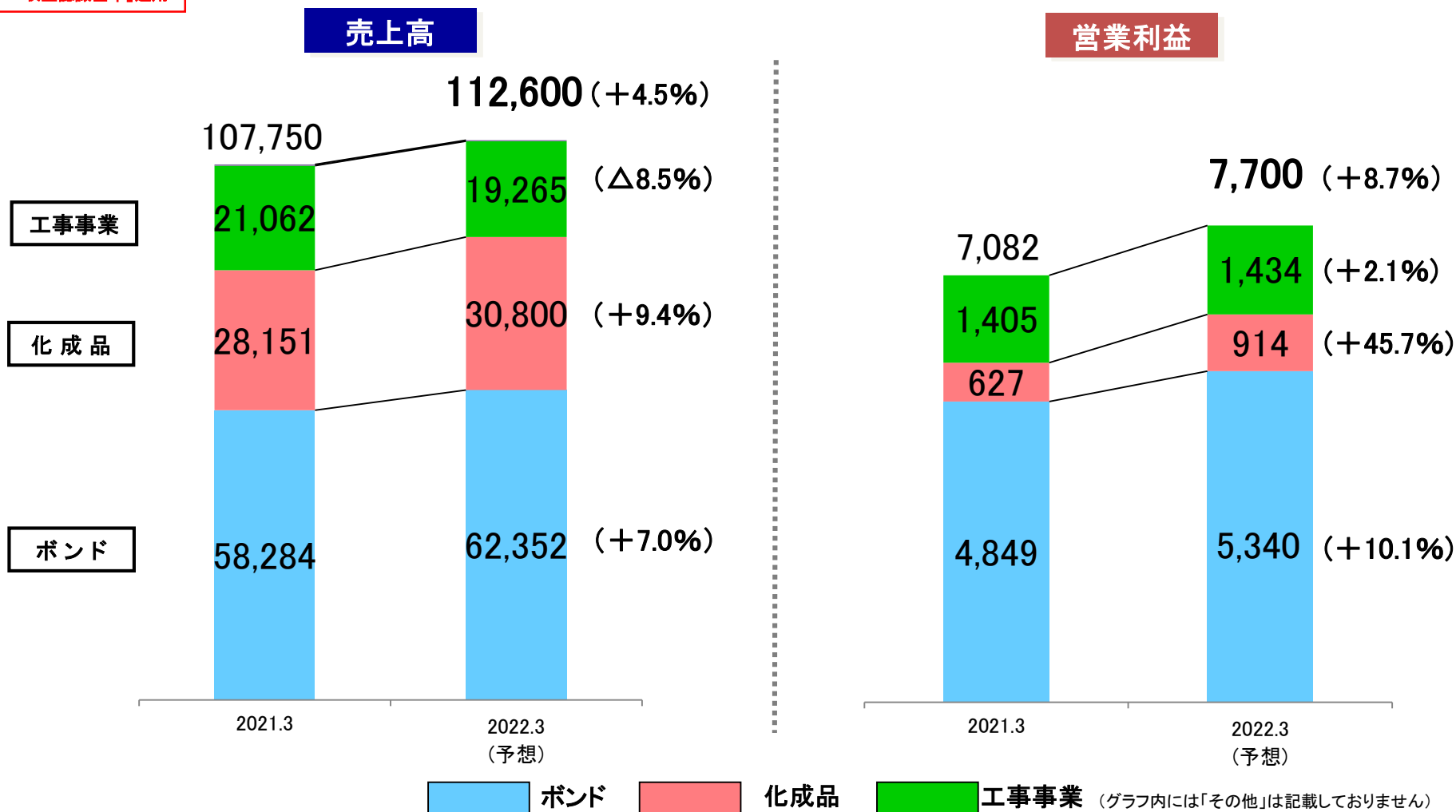
※「収益認識に関する会計基準」適用後	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期予想	増減率 (前期比)
売上高	107,750	112,600	+ 4.5 %
営業利益	7,082	7,700	+ 8.7 %
経常利益	7,424	8,200	+ 10.4 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,931	5,300	+ 7.4 %

- ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大の著しい影響からの反動もあり、期首予想を修正。
- ✓ 利益面では、原材料価格高騰の影響を受け、下期では減益の見込み。

- ・「ボンド」は、回復基調が継続する予想だが、原材料価格高騰の影響を受ける見込み。
- ・「化成品」は、自動車生産台数減少の懸念はあるが、上期好調の影響で大きく伸びる見込み。
- ・「工事事業」は、前年の大型工事案件の反動により減収予想だが、工事利益率の改善で増益見込み。

「収益認識基準」適用

(単位: 百万円 ()内%は前期比)



①「排水処理施設(コニシ滋賀工場)」が完成(2021年4月)

工場開設時(1973年)から稼働の排水設備を更新



- ・長期間稼働に対する老朽化対策
- ・排水の水質改善
- ・水性形接着剤の生産量増加に対応した排水能力の確保



排水の水質改善により河川放流基準に適合 ⇒ 「環境負荷低減」

②サンライズ(株)小山工場に製造ラインを増設

- ・コニシ(株)製品の「建築用シーリング材」を製造(2021年11月稼働)



東日本のシーリング材製造拠点の構築



③監査等委員会設置会社へ移行

- ・「第96回定時株主総会」にて承認可決
- ・社外取締役3名、社内取締役1名の監査等委員で構成
 - ・独立社外取締役が過半数を占める「指名・報酬委員会」も設置(9月)



経営の透明性・客観性を向上し、コーポレート・ガバナンス体制のより一層の強化

④東証新市場区分「プライム市場」への移行

- ・東京証券取引所の市場区分再編に伴い、「プライム市場」を選択

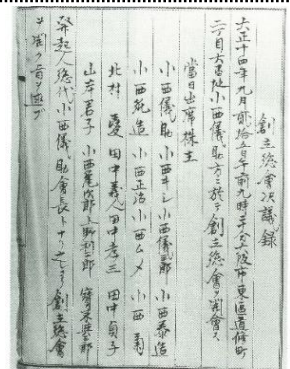


「プライム市場」上場会社対象のコードへの対応を進める

⑤「新中期経営計画 2025」の策定へ

- ・「2023年3月期」～「2025年3月期」の3カ年計画の策定を準備

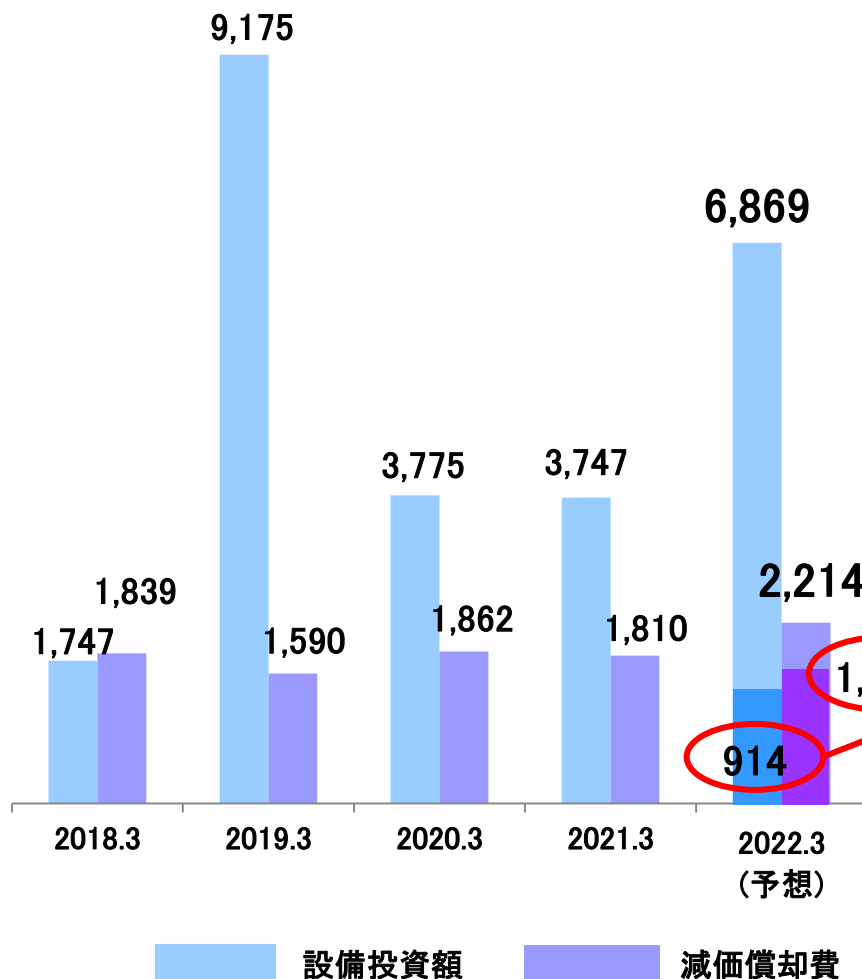
2025年「コニシ株式会社設立100周年」に向け
事業戦略、資本政策等、「あるべき姿」の策定



株式会社小西儀助商店創立総会議事録

設備投資額・減価償却費

(単位:百万円)



今期の主な設備投資

- ✓ コニシ(株) 水性製造所新設関連(栃木工場)
- ✓ コニシ(株) 新基幹システム導入関連
- ✓ サンライズ(株) 小山工場増設関連(栃木県)

第2四半期
実績

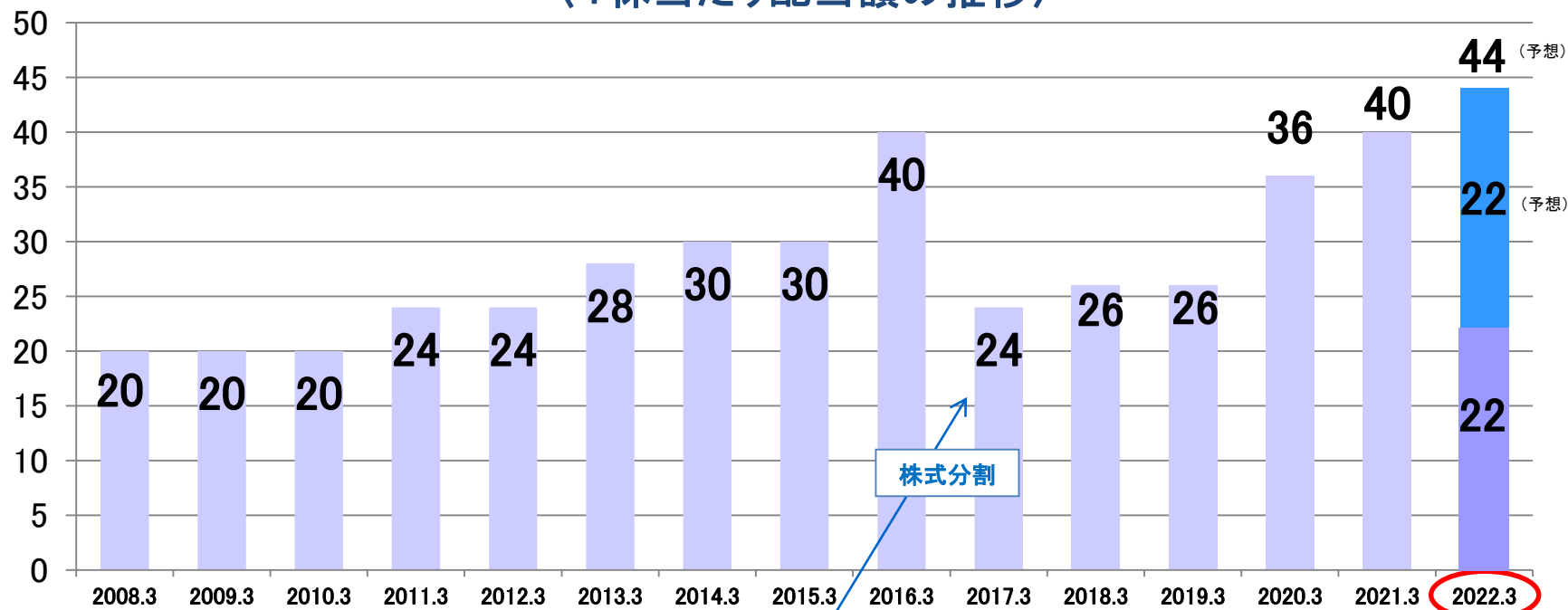
期首計画設備投資額(8,295百万円)内の、「サンライズ(株) 小山工場建設費用」の一部が前期計上分と重複していたため、設備投資額を期首計画より約14億円減額しております。

【配当に関する基本方針】

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と認識しております。
毎期の業績等を勘案しながら、継続的かつ安定的な配当を実施する方針です。

(単位:円)

〈1株当たり配当額の推移〉



※2016年4月1日付にて **株式分割** しております。
2016年3月期以前の配当については、株式分割前の配当金の額を記載しております。

